

「新型コロナウイルス感染症地域医療構想調整会議」について

1 開催経緯

- 新型コロナウイルス感染症に対応するため、県では移行期・蔓延期の緊急医療提供体制「神奈川モデル」を示しているが、当該モデルが有効に機能するには、地域の実情を十分に踏まえる必要がある。
- そこで、地域の実情を的確に汲み取り、医療関係団体・行政機関等の水平・垂直の連携を強化し、一丸となって感染症対応に取り組むため、本県が県医師会へ委託している「地域医療構想普及促進事業」の枠組みを活用し、「新型コロナウイルス感染症地域医療構想調整会議」を開催した。

2 開催概要

(1) 開催時期

令和2年5～7月、県内全ての構想区域(川崎は南部・北部合同)で実施

(2) 開催目的・方法

- 対応上の課題、県や地域での取組状況等について協議し、共有を図る。
- 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、TV会議システムを活用
なお、取り扱う情報を踏まえ、会議は非公開とした。

(3) 参加者

県医師会（事務局）、県、県病院協会
各地域の医療・看護関係者、行政関係者

(4) 協議の際の主な視点

- ア 検査体制
- イ 病床確保
- ウ 軽症者の対応

3 今後の方向性

感染症の状況や地域の実情に応じて、第2回会議の開催を検討